

個人会員の皆さまへ

ご応募お待ちしております。招待券プレゼント！

応募フォームは協会ホームページの会員専用ページ内にあります。

応募期限は毎月20日、厳正に抽選して当選者を決定します。(初回申込者を優先いたします。)

①

5組

藤本壮介展：原初・未来・森

建築は私たちの暮らしをどう変えうるのか



《ラルブル・ブラン（白い樹）》2019年フランス、モンペリエ
撮影：イワン・バーン

藤本壮介（1971年、北海道生まれ）は東京とパリ、深圳に設計事務所を構え、個人住宅から大学、商業施設、ホテル、複合施設まで、世界各地でさまざまなプロジェクトを展開している。《武蔵野美術大学美術館・図書館》（2010年、東京）を手掛けた後、近年では、集合住宅《ラルブル・ブラン（白い樹）》（2019年、フランス、モンペリエ）や音楽複合施設《ハンガリー音楽の家》（2021年、ブダペスト）など、高い評価を得たプロジェクトを次々と完成させ、現在は、「2025年大阪・関西万博」の会場デザインプロデューサーを担当するなど、いま、最も注目される日本の建築家の一人である。

本展は、藤本にとって初の大規模な回顧展となる。活動初期から世界各地で現在進行中のプロジェクトまで主要作品を多数紹介し、四半世紀にわたる建築家としての歩みや特徴、思想を概観する。また、模型や設計図面、記録写真に加えて原寸大模型やインスタレーション等も展示に含まれ、藤本建築のエッセンスを視覚的・空間的に体験できる現代美術館ならではの建築展となる。

期 間 7月2日(水)～11月9日(日) ※会期中無休
10:00～22:00 ※9/23除く火曜日のみ17:00まで
※入館は閉館の30分前まで

観 覧 料	【平日】	【土・日・休日】
一般	2,300円	2,500円
大学・高校生	1,400円	1,500円
中学生以下	無料	無料
シニア（65歳以上）	2,000円	2,200円

会 場 森美術館

東京都港区六本木6-10-1

六本木ヒルズ森タワー53F

TEL.050-5541-8600（ハローダイヤル）



②

2組

オランジュリー美術館 オルセー美術館 コレクションより
ルノワール×セザンヌ

—モダンを拓いた2人の巨匠



左：ピエール＝オーギュスト・ルノワール《花瓶の花》1898年、
油彩・カンヴァス、オランジュリー美術館 © GrandPalaisRmn
(musée de l'Orangerie) / Franck Raux / distributed by AMF
右：ポール・セザンヌ《青い花瓶》1889-1890年、
油彩・カンヴァス、オルセー美術館 © Musée d'Orsay,
Dist. GrandPalaisRmn / Patrice Schmidt / distributed by AMF

本展は、フランス、パリのオランジュリー美術館が、ルノワールとセザンヌという二人の印象派・ポスト印象派の画家に、初めて同時にフォーカスし、企画・監修をした世界巡回展である。

ルノワールやセザンヌの代表作をはじめとし、二人の巨匠による肖像画、静物画、風景画、そして、二人から影響を受けたピカソを加え52点の作品から、モダン・アートの原点を探る。

また、この世界巡回展はオランジュリー美術館とオルセー美術館の協力により、ミラノ、マルティニ（スイス）、香港を経て日本へもたらされ、三菱一号館美術館が日本唯一の会場となる。

ルノワールとセザンヌの交遊と合わせて、自在で多様な表現が生み出されるモダン・アートの誕生前夜に立つ二人の巨匠の、卓越した芸術表現を存分にお楽しみいただきたい。

期 間 9月7日(日)まで
10:00～18:00 ※祝日を除く金曜日、第2水曜日、
8月の土曜日、9/1～7は20:00まで

※入館は閉館の30分前まで

休 館 日 月曜日 ※祝日の場合、トークフリーデー【6/30、
7/28、8/25】、9/1は開館

観 覧 料 一般2,500円、大学生1,500円、高校生1,300円

*小・中学生無料

*障がい者手帳をお持ちの方は半額、

付添の方1名まで無料

会 場 三菱一号館美術館

東京都千代田区丸の内2-6-2

TEL.050-5541-8600（ハローダイヤル）



#ラルブル・ブラン#白い樹#大規模回顧展#2025年大阪・関西万博

#ルノワール#セザンヌ#オランジュリー美術館#オルセー美術館

会員IDやパスワードがご不明な場合は、日本建築協会総務課
(soumu@aaj.or.jp) までお問合せください。
招待券は当協会より郵送でお届けいたします。
当選発表は招待券の発送をもってかえさせていただきます。

information

③ 特別展「正倉院 THE SHOW 5組 ―感じる。いま、ここにある奇跡―

1300年の奇跡に触れる。



3Dデジタルデータ 漆金薄絵盤 (うるしきんぱくえのばん)
撮影および計測：宮内庁正倉院事務所・TOPPAN株式会社

世界的に稀少な品々が約1300年の時を経てなお良好な状態で伝えられている正倉院とその宝物の奇跡を、これまでとは異なる新しいアプローチで「感じる」「楽しむ」展示イベントが、宮内庁正倉院事務所監修のもと、大阪・関西万博を機にスタートする。

今なお色あせることなく、輝きを放つ宝物——それは時代を超え、人の心と手を通じて、脈々と受け継がれてきた。「愛 美 紡ぐ」の3つの視点から、正倉院1300年の奇跡の物語を紐解く。

最新のデジタル手法を駆使した展示を行うのも本展ならではの。宝物を360度からスキャンして取得された高精細な3Dデジタルデータに演出を施した展示(*)を行い、宝物の細部や質感をリアルに紹介。また、正倉院事務所が研究・製作を進めてきた「再現模造」を映像・音楽・照明との組合せで展示する。

(*) 宝物実物の出陳なし。

※巡回情報：上野の森美術館 2025/9/20(土)～11/9(日)

期 間 6月14日(土)～8月24日(日)

9:30～17:00

※入館は閉館の30分前まで

休 館 日 火曜日(ただし8/12は開館)

観 覧 料 一般2,000円、高校生・大学生1,500円、

小学生・中学生1,000円

*未就学児、障がい者手帳等所持の方(介護者1名を含む)は無料

*大学生・高校生・中学生は学生証提示が必要

*スマホ視聴が可能な音声ガイドを含む金額

会 場 大阪歴史博物館

大阪市中央区大手前4-1-32

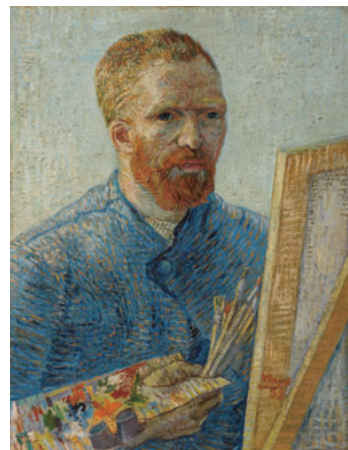
TEL.06-4301-7285 (なにわコール)



#正倉院#宮内庁#2025年大阪・関西万博#3Dデジタル#再現模造

④ ゴッホ展 3組 家族が見つない画家の夢

ファン・ゴッホ家のコレクションに焦点を当てた展覧会



フィンセント・ファン・ゴッホ《画家としての自画像》
1887年12月～1888年2月 ファン・ゴッホ美術館、
アムステルダム(フィンセント・ファン・ゴッホ財団)

Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

アムステルダムのファン・ゴッホ美術館には、画家フィンセント・ファン・ゴッホの約200点の油彩や500点にのぼる素描をはじめ、手紙や関連作品、浮世絵版画などが所蔵されている。そのほとんどは1973年の開館時に、フィンセント・ファン・ゴッホ財団が永久貸与したものである。

本展では、ファン・ゴッホ美術館の作品を中心に、ファン・ゴッホの作品30点以上にくわえ、日本初公開となるファン・ゴッホの手紙4通なども展示し、家族が守り受け継いできたコレクションを紹介する。

巡回情報：東京都美術館 2025/9/12(金)～12/21(日)

愛知県美術館 2026/1/3(土)～3/23(月)

期 間 7月5日(土)～8月31日(日)

9:30～17:00 ※土曜日は19:00まで

※入館は閉館の30分前まで

休 館 日 月曜日、7/22(火)

※7/21(月・祝)、8/11(月・祝)は開館

観 覧 料 一般2,200円、高大生1,300円、小中生500円

*未就学児無料

*学生料金で入場の際には学生証の提示が必要

*障がい者手帳など提示の方と介護者1名無料

会 場 大阪市立美術館

大阪市天王寺区茶臼山町1-82

(天王寺公園内)

TEL.06-4301-7285 (なにわコール)



#フィンセント・ファン・ゴッホ#ゴッホ